

野菜事業の経緯と概要

JFEライフ株式会社

- ◆経緯
- 1999年 兵庫県三田市に野菜工場建設
 - 2004年 土浦市に野菜工場(第Ⅰ期)建設、関東に進出
 - 2007年 土浦第Ⅱ期工場建設
 - 2009年 土浦第Ⅲ期工場完成予定



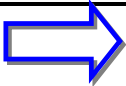


JFEライフの安全あんしん野菜

1. 太陽光のもとで無農薬栽培
2. 天候・季節に影響されない安定栽培
3. 密閉型ガラス温室での最適環境制御
 - ・光量、室内温度
 - ・流れるプールの養液

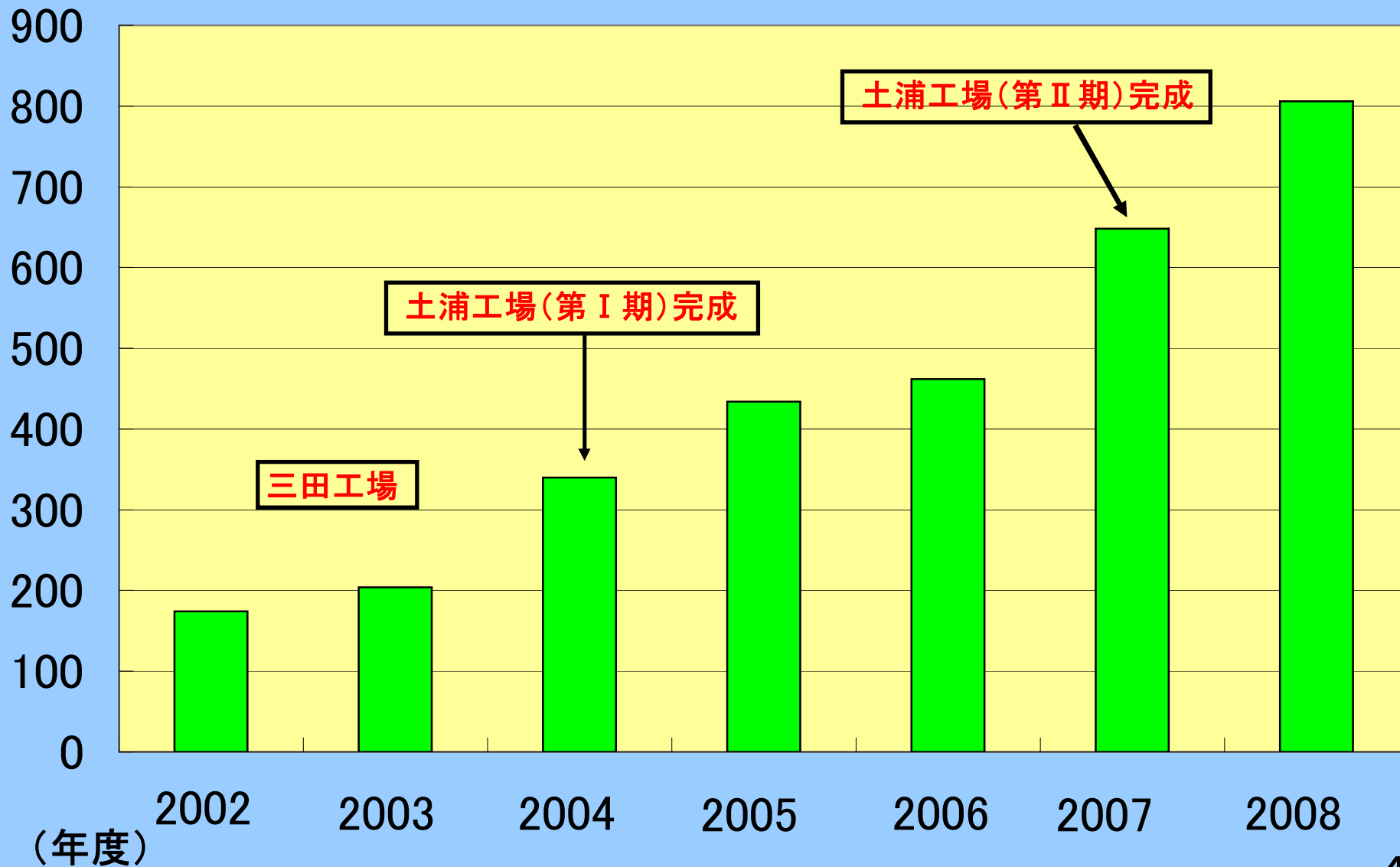
◆ハウス面積: 合計 15,000m² (内三田 5,000m²)

ハウス内生育環境の最適制御

| センサー | | コントロール |
|------|---|---|
| 光量 |  | 強い光 ⇒遮光カーテン 閉じる 曇り ⇒遮光カーテン 開く ⇒補助ランプ 点灯 |
| 温度 |  | 夏期 ⇒クールセル冷房(昼間) ⇒エアコン冷房(夜間) 冬期 ⇒エアコン暖房 |
| 養液 |  | ⇒養液濃度 ⇒養液温度 |

売上高の推移

(百万円)



JFEライフの販売先

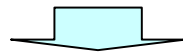
植物工場全体の出荷量 約3000t/年

全国のレタス総出荷量の約0.6% (当社シェア 約20%)

< 用途別 >

業務用 約60% (カットサラダ・惣菜・サンドイッチ
弁当の下敷き等加工業者向け)

小売店 約40% (百貨店・スーパーマーケット)



当社 業務用 30社 約15%

小売店 50社 約85%

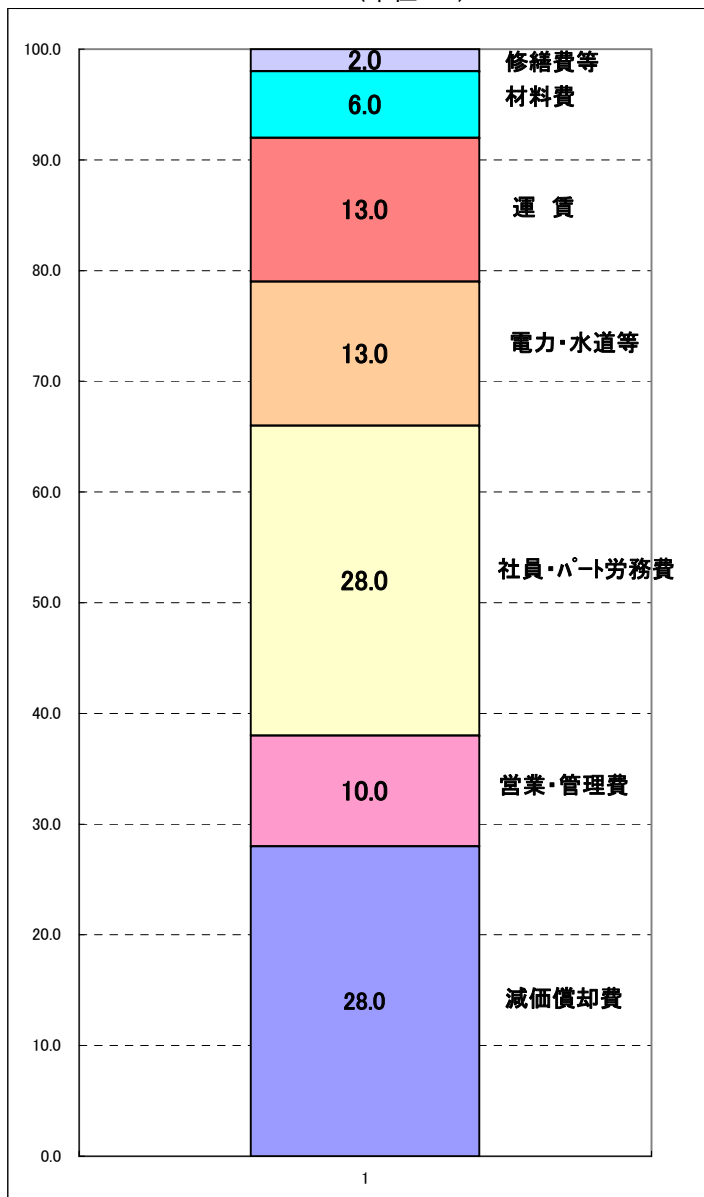
< 野菜の特長 >

露地野菜と比較

- ・無農薬水耕栽培
- ・美味しい野菜を安定供給
- ・衛生的でアクが少ない
- ・野菜の形状良好
- ・雑菌が少なく日持ちする

JFEライフ コスト構成およびコメント

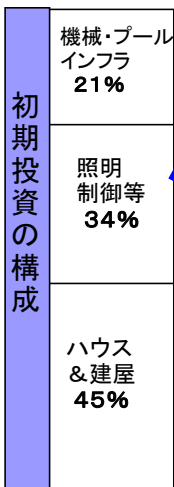
(単位: %)



トラック便 : 85% 宅配便 : 15%
トラック便は積載率アップを図る

太陽光70%、人口光30%
使用電力の優遇が望まれる

1工場約40人強(パート社員)の雇用
雇用確保に対する助成金
新規雇用に対する固定資産税免除



投資に対する補助のあり方
エコ対策をどう盛り込むか

建築基準法の適用
①適合性判定の厳格化によるコスト増
②建ぺい率(60%)
③消防法の適用等

規制の緩和・補助金